

尿検査の実施について

尿検査で腎臓をはじめ、体のどこかの異常をさぐるために、尿の中の成分や性質、量などを調べます。異常の検査結果が出ましても確定診断ではありません。専門医（泌尿器科など）にかかって二次検査を受けていただくこととなります。

検査項目は以下の通りです。

糖

正常では尿の中に出ませんが、血糖値が一定の限度をこえると尿の中に糖が出てきます。糖尿病の発見に役に立ちます。

蛋白（タンパク）

生理的タンパク尿は、過激な運動や精神的ストレス、発熱などでみられます。病的タンパク尿には腎炎、ネフローゼ、尿路の炎症、結石、貧血や心臓病など多くの原因があります。

潜血

血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿などで陽性になります。血尿は腎・尿路系の炎症や結石など多くの原因でおこります。

ウロビリノーゲン

検査結果で異常と判断された場合は、胆道の病気が疑われたり、溶血性貧血、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝障害など肝臓の病気が疑われます

尿の取り方



① 紙パックを組み立てる。

② **7月3日（木）の朝【提出日当日の朝】おきて、すぐの尿をこの紙コップに取って下さい。**

③ プラスチックの容器を指で押さえ、その口を尿にひたし、指をはなすとすいあげます。



④ プラスチック容器は尿がもれないようにフタをしっかりと閉めて下さい。

⑤ 尿をとったプラスチック容器は、尿検査用の個人袋に入れ、点線通りに2度折りたたんでご提出下さい。

7月3日（木）にご提出ください。